

両親や祖父母に伝えよう!

65歳以上の方や女性の被害が多い!

さぎ きずな
オレオレ詐欺被害防止「絆メッセージ」

～家族から被害者を出さないために～

- ① 今年は、電話で家族などのふりをして「トラブル^(※)にあい、困った。助けて。お金が必要。」と言ってお金をだまし取るオレオレ詐欺がとて増えています。

(※)トラブルの例

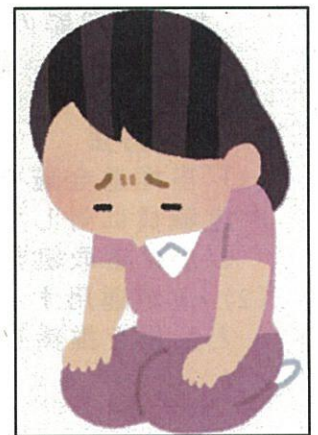
「会社のお金が入ったカバンをなくした。」

「株で失敗した。」

「女性を妊娠させた。」など

- ② 私は、電話で「お金が欲しい。」、「お金を振り込んで欲しい、人に渡して欲しい、送って欲しい。」なんて、絶対に言いません!

- ③ もし、このような電話が来たら、とにかく私や家族、警察に相談してください。



①から③について、両親や祖父母など大切な方々へ確実に伝えてください。



北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議
(事務局：北海道 北海道警察 北海道教育委員会)

H29.7発行 本資料は自由にコピーしてご利用ください

オレオレ詐欺被害防止「絆メッセージ」の取組について

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議

1 目的

オレオレ詐欺被害者の約9割を占める高齢者に対して、現役世代等が、読み上げ式のオレオレ詐欺被害防止「絆メッセージ」を活用して直接注意喚起することにより被害防止を図るものです。

2 背景

道内におけるオレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺事件は、本年6月末現在で被害件数133件、被害金額約2億7,200万円に上り、前年同時期と比較して49件、約1億1,800万円の大幅な増加となっています。

とりわけ、息子等になりすまして被害者を騙す「オレオレ詐欺」については、前年同時期と比較して、認知件数で約7倍、被害金額では約2.2倍と大幅に増加しており、極めて憂慮すべき状況となっています。

3 趣旨

高齢者に広く効果的に注意を呼びかけるためには、家族等から直接言葉をかけ、印象に残る注意喚起を行うことが有効な対策の一つです。

しかし、オレオレ詐欺の手口について他人に説明できる程に理解している者は少ないと考えられるほか、一部の住民からは「高齢者に注意を呼びかけたいが、声をかける具体的な方法がわからない。」といった意見も出ています。

また、巧妙なオレオレ詐欺の手口を具体的に説明することは、高齢者にとっても非常に難解なものとなります。

したがって、高齢者目線に立ち、オレオレ詐欺手口の基本的な部分に焦点を絞り、かみくだいた表現で、読み上げることで効果的な注意喚起が可能なメッセージを新たに作成し、現役世代等による活用を促進することにより、被害防止を図るものです。

4 実施主体

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議（70の機関・団体から構成）
（会長：知事、副会長：警察本部長、教育長ほか、事務局：道、道警察、道教委）

5 実施方法

(1) 当推進会議では、70の構成機関・団体に本メッセージの周知を図ったほか、道職員に対しても家族への注意喚起を促すことで、道民に対し被害防止を広く呼びかける取組を展開しています。（7月21日付で取組開始）

(2) 道が運用する各種広報媒体（ブログ、ツイッター等）を活用して道民への周知と活用を推奨しています。

【問い合わせ先】

北海道環境生活部くらし安全局道民生活課
安全安心グループ 主幹 藤村 浩行
011-204-5211
(内線番号 24-154)